

名前 () 日づけ (/) できた数 (/28)

使い方 本文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。この章段の山は「はしたなし」「げに」「いとど」「つと」「かひなし」の語義、⑪「ぬ」が打消か完了かの識別、そして④⑧の連体形止めと⑮「ぞ～出で来る」の係り結びです。

あらすじ＝清少納言が「きまりが悪いもの」を並べていく類聚的章段（ものづくし）。まず、別の人が呼ばれているのに自分だと思って出しゃばってしまう失敗。物をもらえる場面ならなおさら気まずい。次に、ふと口にした他人の悪口を、聞き覚えた幼い子どもが当の本人の前で言い出してしまう気まずさ。後半は涙の話で、悲しい話に同情して聞いているのに涙が出ず、泣き顔をつくってもむだ。ところが、すばらしいことを見聞きするときには、かえって涙があふれて止まらない。思いどおりにならない感情のおかしみを、鋭く見つめた章段である。

一次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

①はしたなきもの。②異人（ことびと）を呼ぶに、③我ぞとて④さし出でたる。物などとらする折は、⑤いとど。おのづから人の上など⑥うと言ひそしりたるに、⑦幼き子どもの聞き取りて、⑧その人のあるに言ひ出でたる。あはれなる事など人の言ひ出で、うち泣きなどするに、⑨げにいとあはれなりなど⑩聞きながら、⑪涙のつと出で来ぬ、⑫いと⑬はしたなし。泣き顔つくり、⑭けしきことになせど、⑮いとかひなし。めでたき事を見聞くには、⑯まづただ出で来にぞ出で来る。

語注 はしたなし＝きまりが悪い。体裁が悪い。中途半端で間が悪い。現代語の「はしたない（下品だ）」とは意味がちがう。異人＝ほかの人。別の人。「異（こと）」は「別の・ちがう」の意。我ぞとて＝自分（が呼ばれたのだ）と思つて。「ぞ」は強意の係助詞で、結びの語が省略されている。さし出づ＝出しゃばる。進み出る。「さし」は語調をととのえる接頭語。とらす＝与える。くれる。折＝とき。場合。いとど＝いっそう。ますます。下に「はしたなし」が省略されている。おのづから＝たまたま。ふと。人の上＝他人の身の上。他人のうわさ。うち＝「ふと」する・「ちよつと」するの意を添える接頭語。そしる＝悪く言う。非難する。あはれなり＝しみじみと心を打たれる。ここは「気の毒だ・悲しい」の意。げに＝なるほど。本当に。つと＝さつと。すぐに。急に。出で来＝力行変格活用動詞「出で来（いでく）。出てくる。けしき＝ようす。そぶり。表情。こと（異）に＝ふだんとは別のように。なす＝つくる。そのようにする。かひなし＝効き目がない。むだだ。めでたし＝すばらしい。喜ばしい。

※清少納言＝平安時代中期の女房。一条天皇の中宮定子に仕えた。

はしたなきもの

A 語句の意味と読み (1～7)

- (1) ① 「はしたなきもの」の「はしたなし」の意味を書け。
- (2) ⑤ 「いとど」の意味を書け。また、この一文の下にどのような言葉が省略されているかも書け。
- (3) ⑥ 「うち言ひそしりたる」の「そしる」の意味を書け。
- (4) ⑨ 「げにいとあはれなり」の「げに」の意味を書け。
- (5) ⑪ 「涙のつと出で来ぬ」の「つと」の意味を書け。
- (6) ⑬ 「けしきことになせど」の「けしきことになす」の意味を書け。
- (7) ⑭ 「いとかひなし」の「かひなし」の意味を書け。

B 文法 (8～13)

- (8) ④ 「さし出でたる」の「たる」は何の助動詞の何形か。また、そこで言い切られている理由も書け。
- (9) ⑩ 「聞きながら」の「ながら」の意味と用法を書け。
- (10) ⑪ 「涙のつと出で来ぬ」の「ぬ」は何の助動詞の何形か。また、そう判断できる決め手を一つ書け。
- (11) ⑪ 「涙のつと出で来ぬ」の「の」の用法を書け。
- (12) ⑬ 「けしきことになせど」の「なせ」の活用形を答え、「ど」の働きも書け。
- (13) ⑮ 「まづただ出で来にぞ出で来る」の「ぞ」の働きを答え、結びの語とその活用形も書け。

C 主語・指す内容 (14、17)

(14) ③「我ぞとて」の「我」とは、どのような人か。本文に即して書け。

(15) ⑦「幼き子どもの聞き取りて」とあるが、幼い子どもは何を聞き取ったのか。書け。

(16) ⑧「その人のあるに言ひ出でたる」の「その人」とは誰か。書け。

(17) ⑮「まづただ出で来にぞ出で来る」の主語にあたるものを書け。

D 口語訳 (18、21)

(18) ②③④を含む「異人（ことびと）を呼ぶに、我ぞとてさし出でたる」を口語訳せよ。

(19) ⑦⑧を含む「幼き子どもの聞き取りて、その人のあるに言ひ出でたる」を口語訳せよ。

(20) ⑨⑩⑪を含む「げにいとあはれなりなど聞きながら、涙のつと出で来ぬ、いとはしたなし」を口語訳せよ。

(21) ⑬⑭を含む「泣き顔つくり、けしきことになせど、いとかひなし」を口語訳せよ。

E 内容・記述 (22～25)

(22) ①「はしたなきもの」の例として、③「我ぞとて」④「さし出でたる」があげられている。この場面がなぜ「はしたなし」なのか説明せよ。

(23) ⑦「幼き子どもの聞き取りて」⑧「その人のあるに言ひ出でたる」の場面が「はしたなし」といえるのはなぜか。説明せよ。

(24) ⑫「いとはしたなし」とあるが、どのような状況を「はしたなし」と言っているのか。説明せよ。

(25) ⑮「まづただ出で来にぞ出で来る」は、直前までの涙の話とどのような関係にあるか。説明せよ。

F 文学史 (本文全体をふまえて答える) (26～28)

(26) この文章の出典『枕草子』の作者名と、作者が仕えた中宮の名を書け。

(27) ①「はしたなきもの」のように「ゝもの」という題を立てて、同じ種類の事がらを次々に並べていく『枕草子』の章段を何と呼ぶか。ほかの例も一つあげよ。

(28) 『枕草子』は文学のジャンルとしては何にあたるか。また、同じジャンルの、のちの時代の作品を一つ、作者名とともにあげよ。

【テスト直前チェック】この三つ ①⑪「涙のつと出で来ぬ」の「ぬ」は打消。「いでこ・ぬ」と読む打消「ず」の連体形。完了と取ると「涙が出た」ことになり、⑫「いとはしたなし」につながらなくなる。読み方が決め手。②「はしたなし」は「下品だ」ではない。①⑫は「きまりが悪い・体裁が悪い」。現代語につられた訳は即アウト。「げに」「いとど」「つと」「かひなし」もセットで覚える。③連体形になる理由を二種類。④⑧「～たる」は下に「とき・折」が省略された連体止め、⑮「ぞ～出で来る」は係り結び。同じ連体形でも理由がちがうので、説明させる問いが出ます。